

◇ 公民的分野「根拠を基に思考・判断する力を育てる指導の工夫」について No. 1

記録者

支部

名前

今年度の副主題を受けて、各支部ではピンに力を入れて指導するか。

1. 各支部より

① 伊達支部・山崎先生（霊山中）

↓
全学年を担当している。公民は指導しやすい分野。

- 。 「根拠をもとに」～ “根拠”とは何か。

↓
結論にたどりつくまでのプロセスが重要
└ 知識を習得させる活動
└ 思考・判断する活動 (バランス)

- 。 “覚える社会科”から“考える社会科”へ

- 。 新聞を活用した授業～「マスメディアと世論」

↓
地方紙と全国紙の取り上げ方

② 安達支部・中小路先生（二本松一中）

- 。 様々な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識が身につく。

↳ 逆に、それはいけない。

- 。 根拠をもたせることは必要不可欠

↓
社会的事象を考察させるための資料
↳ 選定・活用の工夫

- 。 根拠を見つけ、意欲的に活動するための学習課題の設定

↓
多様な意見をもつ、葛藤させる。

- 。 教師側からの資料の提示～学力差を考慮しながら。

↓
動画、実物など

- 。 学習形態の工夫

(火山が多い)

- 。 「持続可能な社会に向けて」の授業～防災教育、講話の内容をふまえる。

↓
私にちにできることは何か？～社会参画

↓
自分の考えを深める。

◇ 公民的分野「根拠を基に思考・判断する力を育てる指導の工夫」について No.2

③ 岩瀬支部・村上先生（鏡石中）

。「主体的に立ち向かう力」～ 社会の現状や変化を論証する中で
とらえる、よりよい社会を根拠を基に
提案する力の育成を図る。

。特に「学習課題の工夫」「資料選定・活用の工夫」
「学習形態の工夫」を重点事項としている。

。「政治参加と選挙」の授業

↓
「選挙権が18歳になったのはなぜか？」
みんなが投票に行くにはどうすればいいのか？」

何となくではなく、自信をもって考えることができるようにしたい。

。新聞などの資料を提示

④ 郡山支部・鈴木（緑ヶ丘中）

。「根拠を基に」～ 実物、模型資料を効果的に用いて
生徒の興味・関心を高める。

↓
根拠を獲得するための資料の提示を
工夫する。

。重点事項② 学習課題の工夫～ 各学校でしっかり取り組むことが
できるようになってきた。

。重点事項③ 資料選定・活用の工夫

↓
学習課題を解決するために必要な基礎的・
基本的な知識および技能を習得するための
学習活動を行う。

。重点事項④ 学習形態の工夫～ 言語活動の充実を通じた
社会科授業の型

。重点事項⑤ 振り返りの工夫～ 「まとめ」との区別

↓
学習課題と一体になったまとめ

。政治「だれを市長に選ぶべきか？」

↓
資料を活用し、根拠を明確にさせる。

なぜそう考えるのか？

◇ 公民的分野「根拠を基に思考・判断する力を育てる指導の工夫」について No.3

⑤ 北会津支部・唐司先生(猪苗代中)

- 授業を構築する際のポイント
 - └ ねらいの焦点化の工夫
 - └ 学習課題の工夫
 - └ 資料選定・活用の工夫

- 「住民として地方自治について考えよう」

↓
防災と町づくり～町を取り巻く自然環境や過去に発生した自然災害を調べ、防災の観点から必要な町づくりのあり方を考える。

いつ どのくらいの規模

- 生徒の実態や教材の特質に応じた適切な資料の選択と活用の工夫
- 根拠を示して発表するンビができるように～中学1年生から

⑥ いわき支部・国井先生(勿来一中)

- 昨年は様々な切り口から考えさせる授業の実践

↓
今年は「複数ある解決策から、多くの人を納得させる解決策を話し合いにより見出す」授業の実践

- 授業の学習活動～教師の意図的な手立てが必要

もともと持っている知識

新たに発見したもの

- 単元構造図～いわき市でずっと取り組んでいるもの

↓
「思考・判断する力を育てる」ための手立てを6つの段階(導入、課題追究、振り返り)で、何を根拠に思考・判断させるのかを記入する。

- 発問の工夫～いわき市独自で

- 指導案～昨年度のもの

- まとめと振り返り～1時間を通して自分の考えがどう変わったか

- 身近な教材を話題にしたから授業を進めていきたい。

◇ 公民的分野「根拠を基に思考・判断する力を育てる指導の工夫」について No. 4

◎ 新聞の活用

- 。一面の見出し
- 。興味・関心をもたせる
- 。生徒の目にふく場所に置いておく
- 。新聞を読んでいる子は少ないが、世の中の出来事は知っている
- 。授業の資料として、どう活用できるか
- 。生徒と一緒に読む

導入

◎ 教師がめざすものと異なる方向に進むこともある。

資料が適切かどうか

↓
どう修正したらよいか

根拠がない = 風評

福島県に住む者として



根拠をもって考えることが大切

- 。新聞社によって考え方も異なる

☆ 2月から1年間、授業実践を積み重ねていきたい。